

第 1 回 次世代構造システム分科会

日 時：平成 30 年 4 月 12 日（木）10:00～11:50.

場 所：日本学術会議 5-C(1) 会議室.

出席者：前川（委員長）、依田（副委員長）、風間[S]、加藤、高橋、東畑、斉藤、永野、名和、藤田（幹事）、小野（幹事）.

以上、計 11 名（敬称略、順不同。[S]はスカイプでの参加）.

配付資料：

- ・資料 1：分科会委員名簿
- ・資料 2：24 期 土木工学・建築学委員会 構成
- ・資料 3：各分科会構成と設置の趣旨（参考 1，参考 2 含む）
- ・資料 4：大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準
土木工学・建築学分野
- ・資料 5：土木工学・建築学委員会 全体会の開催案内

議事

1. 自己紹介

出席した各委員が自己紹介を行った。

2. 役員の選出

- ・本分科会の世話人をされていた前川委員を分科会委員長に推挙する提案がなされ、全会一致で了解された。
- ・前川委員長より、副委員長として依田委員、幹事として藤田委員および小野委員の推薦があり、全会一致で了承された。

3. 大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 土木工学・建築学分野

- ・資料 4 に基づき、前川委員長より概要の説明が行われた後、本基準の策定に幹事として参加された依田副委員長より補足説明が行われた。
- ・本基準については、若干の改訂が行われることが予定されていることが前川委員長より紹介された。

4. 設置の趣旨

- ・資料 3 に基づき、前川委員長より、本分科会の他、その他の分科会についても設置趣旨等の説明が行われた。

5. 活動方針と方向性

- ・前川委員長より、本分科会の活動期間は 3 年弱であり、最初の 1 年間は意見交換を中心に実施していく予定であるとの考えが紹介された。
- ・名和委員をかわきりに、各委員から本分科会の活動に関して自由に発言をしていただき、以下に示すような意見が出された。
 - どこを目指して（誰に対して提言を出すのか等）議論するのか整理する必要がある。
 - 人材育成、教育の方向性について、大学と社会との関係・つながりも考慮しながら検討する必要がある。

- －博士の学生をどのように育てて行くのか，学術会議全体で議論して欲しい．
- －科学（科学者）とエンジニアリング（エンジニア）の違いについて議論し，土木はエンジニアリングの要素も大きいということを発信していきたい．
- －（社会基盤施設については）維持管理も大切であるが，更新も大切である．部材単位ではなくシステム全体として考える重要性は既に叫ばれているが，更新と結びつけることで構造システムの魅力を伝えることが出来ると考える．

6. その他

- ・資料 5 に基づき，前川委員長より，5 月 21 日（月）13:40 から開催予定の土木工学・建築学委員会全体会の開催についてのお知らせがあり，出来るだけ多くの委員に参加いただきたいとの付言があった．

7. 次回分科会の予定

- ・次回分科会は，全体会の開催にあわせて，5 月 21 日（月）10:30～12:00 で開催する予定である。

－以上－

（文責：小野）